

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 6 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471501761		
法人名	SOMPOケア 株式会社		
事業所名	そんぽの家 GH南蔵王		
所在地	広島県福山市南蔵王町5-20-25 (電話) 084-940-6630		
自己評価作成日	令和5年5月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosyoCd=3471501761-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年6月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

高齢者の尊厳を確保した、より安心・安全な介護サービスを提供できる持続可能な事業モデルの構築を目指しています。言葉で要望を伝える事が困難な方でも、以前の生活を参考にし、要望を捉えるように努めております。行事などにご家族にも参加して頂き、また、入居者様目線で日々の生活の中で楽しみごとを重ね、ご利用者の喜びが職員の喜びであるような仕組み作りを行っております。地域の中で安心して過ごして頂けるよう、運営推進会議などを通して地域の方に施設を開示したり、ボランティアの方を受け入れ、交流出来るよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地域包括支援センター管轄内で『小地域ネットワークグループ』を形成し、市福祉介護保険課関係者や他事業所との信頼関係の構築ができ、勉強会や行事などを通じて、各々が事業所の取り組みや問題点など活発な意見交換の場として、解決策の情報が得られるなど連携協力体制を築いている。事業所内で月1回の『子ども食堂』を開催し、地域の子供達や親の参加もあり、世代を超えた交流に利用者の笑顔が見られ、より多くの参加者が得られるよう尽力している。利用者が共同生活を営む中で家庭的な環境と地域住民との交流が出来るよう、一人ひとりの人格を尊重し、職員は情報共有し、その思いに寄り添う支援の取り組みを実践している。

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を構築し、e-ラーニングでの研修・集合研修を通じて全職員共有することで実践につなげています。	月2回の研修で理念を振り返り共有を行い、利用者一人ひとりの人格を尊重し、役割を持って日常生活が過ごせるように実践している。職員は研修をもとに理念に基づいた個人目標を揚げ、年4回の個人面談で実施状況を把握し、次へのスキルアップに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染症の影響で地域の方との交流が減少しています。認知症カフェへの参加しています。SOMPOケアで行っているオンラインASや子ども食堂への参加を地域の方にご案内しています。	コロナ禍で地域との交流が少ないなか、地域包括支援センター主催の認知症カフェの参加や事業所内で子供食堂の開催をしている。又、町内会に加入し、運営推進会議議事録にて事業所の状況報告や行事報告など回覧し、協力体制の構築に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々に向けて認知症に対する理解や援助方法について、他事業所と共に『認知症サポーター養成講座』を行い、発信しております。今後は、町内会や地域の老人会を通し、行っていきたいと思っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、行事や事業所の取組み状況などを報告し、その中での意見をケア向上に繋げています。より多くの入居者様・ご家族に参加して頂けるよう、議題の工夫に取り組んでいます。	運営推進会議はそんぼの家南蔵王3事業所で同時開催を定期的に行っている。コロナ禍で対面での開催はできず、書面の開催である。利用状況や行事、今後の予定など報告を行っている。電話にて意見交換を行い、面会や外出などの意見が多く、今後の反映に活かせるよう取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	包括支援センター南蔵王管轄内の事業所、社会福祉協議会、介護保険課と『小地域ネットワークグループ』を形成し、地域連携について協力し合う取り組みを行っています。	小地域ネットワークグループとの連携で介護保険課や社会福祉協議会などと協力関係を築いている。議題を決めて勉強会に参加し、各々事業所の取組みや提案など意見交換の場となり、情報が得られ事業所の取組みに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	H27年のグループ会社における虐待事案を受け、身体拘束廃止委員会を設置し、年4回開催しています。虐待や身体拘束に繋がりにかぬないケア等について話し合いを行っています。	年1回の研修や身体拘束廃止委員会を設置し、年4回開催し全職員に周知している。スピーチロックなどで利用者の行動を制限する事のないよう、具体的な場面をもとに話し合い、その人にあった声掛けなど配慮や工夫をして身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者のお宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	H27年のグループ会社における虐待事案を受け、身体拘束廃止委員会を設置し、年4回開催しています。虐待や身体拘束に繋がりにかぬないケア等について話し合いを行っています。	/	/
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度のパンフレットを施設に設置し、研修会があれば参加していきます。また、必要性のあるご本人とご家族に、制度の活用をお勧めしております。	/	/
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書説明時には疑問点や不安内容について、確認を行いながら、説明を行うようにしております。一度の説明では理解が難しい事も考慮にいれ、複数日かけることもあります。	/	/
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見ご要望カードを設置し、いつでも意見を汲み取れるようにし、頂いたご意見について話し合い職員間でも共有して要望実現に努めております。また、会社としても『お客様相談窓口』を設け、重要事項の説明の際にも公的窓口の案内をしております。	年2回のアンケートや日常の会話の中からの要望や家族からの意見など「意見要望カード」に記載して職員間で共有し、実現出来るよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回、業務改善に関する話し合いを行っており、トップダウンではなく、職員の意見や提案を運営に反映させる機会を設けています。月に1回ユニット代表者間での会議も行っております。	毎月のカンファレンスで日頃の業務に関する提案など、まずは試してみる事で物品の購入に繋がるなど意見が反映に活かされている。介護する上でのあり方など管理者、各ユニットリーダーに何でも言える、話しやすい環境づくりを整えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	目標チャレンジ制度(昇給制度)、社外研修参加制度、資格取得補助制度を設け、職員の努力や実績を把握するよう努めております。また、出産育児休業や配偶者出産休暇など、子育て支援制度も行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	目標チャレンジ制度で、職員ごとに年間の目標を自分で建て、管理者と面談を通して自己研鑽の機会を設けています。外部研修の案内をし、希望者に参加してもらっておりますが、十分な体制とは言い難い状況です。資格取得補助制度も設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同一法人内の意見交換は十分に行っております。また、包括支援センター南蔵王管轄内の事業所同士で連携をとっており、事例検討会や研修会などを行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居面談時はもちろん、入居に関わる前から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしております。		

自己評価	外部評価	項 目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居のご相談を頂いた時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしております。来訪時には出来るだけ話をする機会を作り、信頼関係を築けるよう努めております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談時に何に困っておられるか、どうされたいのか伺い、現在どのような支援を必要としているかを見極め、どのようなサービスを利用すれば解決できるかを、一緒に考えるようにしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日常生活を共に営むという認識のもと援助を行っております。コミュニケーションをとったりすることで、日々生きがいと楽しみのある生活づくりを、連帯感を持って支援しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居者様の状態を毎月の手紙やその都度ご家族に報告して把握をして頂き、援助について一緒に考え、関わりを増やして頂けるようにしております。リアル面会も実施しており、家族様との絆を大切にしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会や外出を再開しており、外出を望まれる方には外出して頂いています。</p>	<p>年賀状のやりとりや電話の取り次ぎ、利用開始前からの訪問マッサージの来訪や新型コロナウイルス感染症予防対策をとっての家族の面会や自宅への帰宅や墓参り、店への買物など状況を見ながら、人や場との関係の継続に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様同士の関係を把握し、職員が橋渡し役となって入居者様同士が関わりあえるようにしております。気の合う入居者様同士で趣味活動の支援を行っております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用終了(退去)後は担当ケアマネージャーやソーシャルワーカーの方々と相談しながら、継続した関わりが必要なケースについてはフォローしております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様やご家族から生活歴を伺い、希望や思いを把握するとともに、ご本人の意向に沿うよう、プラン評価時に話し合いをしております。また、毎日の生活の中でもコミュニケーションが困難な方も入居者様の態度や表情などから把握するように努めております。	生活歴や利用者、家族から趣味や嗜好、日頃のケアや会話の中から把握している。又、表出の難しい利用者は個別介護記録や日頃の生活の中で喜ばれる様子や仕草や表情などで把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について何うようにしております。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなどから様々な情報を頂き、情報量を増やすよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の状態やエピソードを個別介護記録に記載し、現状の把握に努めております。申し送りやカンファレンスを活用し、職員間で情報共有出来るよう行っています。		

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者様、ご家族、主治医などの意見を頂きながら、カンファレンスなどで話し合い、計画作成しております。期間の中途でも必要に応じ、計画変更を行い、現状に即した支援を心がけております。</p>	<p>利用者、家族の要望や主治医による意見、カンファレンス時の提案やアイデアなど多職種の意見をもとに介護計画を作成している。3か月ごとのモニタリングや体調面など変化があればその都度見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>既定の個別介護記録に日々の生活の様子や対応、対応後の入居者様の表情や言動(満足度)も細やかに記載するよう努めております。また、月1回のカンファレンスでのモニタリングにて、介護計画の見直しを行っております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者様のかかりつけ医への受診はご家族対応となっておりますが、ご家族の状況により職員が行うなど、柔軟な対応が出来るようにしております。ご要望に応じて買い物の代行支援も行っております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>その方の今までの生活、現在の状況において必要な場合は、民生委員の協力を仰ぐようにしております。また、子ども食堂を実施し、子どもとのふれあいのある生活づくりを支援しております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人およびご家族が医療機関の選定をされています。事業所として、適切な医療を受けられるように助言などを行っております。かかりつけ医と訪問診療以外でも、細目に報告し、いつでも相談できるよう、連携しております。</p>	<p>利用開始前からの医療機関をかかりつけ医にしている利用者もいる。訪問診療やかかりつけ医の受診の際は報告など行い、適切な医療を受けられるよう説明をしている。事業所には不定期の看護師や建物内1階の小規模多機能事業所に看護師が常勤していて、体調面管理も整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員や訪問看護と密に連携をとりながら健康管理を行っております。また、適切な受診や看護が受けられるよう、日々の生活の状態を把握し、情報の共有に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に情報提供書を作成し、ご本人の様子を説明しております。また、定期的に連絡を行い、状態を把握し、その際には担当医師、看護師、ソーシャルワーカーの方々とも話をする機会を設けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時から話し合いの機会を持つようしております。また、早期に話し合いを行い、重度化した際の指針を作成し、かかりつけ医・看護師と方針の共有を行い、最期までより良い日常が過ごせるよう、協力体制を整えております。	契約時、利用者、家族に終末期についての説明、確認をしている。重度化した時、段階ごとに早目に話し合いを重ね、家族や医師、職員間で方針を共有し、思いに寄り添う支援をしている。看取り時には家族も居室に宿泊ができ、最期を共に過ごせるよう配慮している。研修や看取り後の振り返りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時に備え、マニュアルを作成し、研修を行っております。救急救命講習会への参加をするように心がけており、また、管轄消防署に依頼し、事業所で研修会を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害発生時の対応マニュアルの作成、更新を行っており、災害発生を想定した避難訓練を年2回、うち1回は地震想定での訓練を行っています。近隣の方々に避難訓練のご案内をしています。水害想定での訓練も年1回実施しています。	防災訓練は年2回、その内1回は地震を想定しての訓練をしている。水害想定での訓練も実施していて、垂直移動時には実際に担架を使用しての訓練をしている。災害時の対応マニュアル、連絡網の整備や災害時に備えて3日分の備蓄(水、食料品など)を整えている。	

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自分がされたいやだと思うことは相手にもしないという思いを持ち援助を行っている。個人情報保護法に基づき、個人情報の取り扱いを行っております。また、各居室は入居者様にとって自宅と捉え、プライバシーに配慮しております。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、敬意を持っての声掛けや支援方法の工夫をしている。研修や2~3ヶ月ごとにチェックシートを使用して自己評価と他職員評価で気づきや振り返りを行い、プライバシーを損ねない対応を実践している。書類は鍵のかかる書棚に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思いを傾聴し、ご本人が理解して決定出来るよう、お一人お一人に合ったコミュニケーション手法により説明を行い、自己決定しやすい環境づくりにも留意しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人の生活習慣や生活リズムに応じて援助をスケジュール化してはいますが、趣味活動など、その日の様子、希望によって臨機応変に対応しております。また援助については交渉を行ったうえでっております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者様の好みに合わせ、衣服の選択、更衣や整容等の援助を行っております。理美容院についても、ご本人の望まれる店に行けるよう、ご家族にも協力して頂いております。訪問理美容を利用されている入居者様も多くいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	保健衛生上、通常の食事は配食会社に委託を行っております。食中毒予防のため一緒に調理は行えていませんが、職員も一緒に食事をとり、入居者様の好みや状態に合った食事の提供と補助具の使用に心がけております。	配食会社から栄養バランスのとれた個々の形態に合った食事を提供している。毎月の行事食として季節感のある献立を用意している。朝食は利用者の好みで半数近くがパン食を希望している。できる事として下膳を役割とする利用者もいる。誕生日や催し物の時は好みの物を提供している。	

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご要望や摂食嚥下状態に応じた食事形態や介助の工夫を行い、一度の食べる量が少ない方には補食を提供するなど、摂取できるように取り組んでいます。その方の体調に応じて水分摂取量の記録を残し、一日を通じて確保出来るよう支援しています。また週1回体重測定を行い、変動に気を付けています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>誤嚥性肺炎の予防の為にも一人一人の状況に応じた補助具を使用し、毎食後、口腔ケアや義歯管理の援助を行っております。また、必要な方には定期的に歯科衛生士によるケアも行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄障害のアセスメントを行い、一人一人の排泄パターンを把握し、出来るだけ自然な形で排泄が行え、失禁の軽減に努めております。膀胱尿道機能の障害が考えられる方には泌尿器科医への相談も行っています。</p>	<p>トイレは各ユニットごと4ヶ所居室と居室の間にある。一人ひとりの排泄パターンを把握し定期的な声掛けでトイレにて座位での排泄支援をしている。個々の排泄行為を踏まえ居室にポーダブルトイレの設置の方が4名いる。紙パンツにパット装着で自分で処理ができる利用者もいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便コントロールについて、薬剤だけに頼るのではなく、運動励行、水分摂取、排便に良いとされる飲食物の摂取など、生活面から一人一人に合った支援に取り組んでおります。便秘の原因について、医師に相談し、その方に合った排便管理の実践を行っております。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人一人の希望の時間に入浴できるように配慮しております。入浴をアクティビティの一つと考え、湯の温度や入浴方法など、好みに応じて対応しております。皆様が安全に楽しみを持って入浴して頂くため、ある程度スケジュール化させて頂いております。</p>	<p>入浴は基本週2回午後浴である。一人ひとり浴槽の湯を替え、湯の温度も利用者に合わせるなど、入浴方法や価値観を押し付けるのではなく、一人ひとりの行動や生活様式に合わせる支援をしている。時には、地域の方から頂いた柚子でゆず湯を楽しむ事もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	安眠できるように温かい飲み物を提供したり、室内の温度や湿度、照明の調節、排泄介助の時間の調整、日中に疲れ具合に応じて休息を取って頂く、など行っております。その方の生活習慣やご要望の就寝時間に沿って、援助を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	入居者様の薬の情報について確認し、また、薬剤師から説明を受けるなどして、理解に努めております。一人一人に合った方法で介助を行っております。また、薬の変更時には状態の観察を特に行い、介護記録に記入しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活歴を基本に、一人一人に合った役割を出来るだけ持って頂けるように配慮しております。ゴミ捨てや洗濯物たたみ、テーブル拭き等、日々の生活の中での役割を大切にしながら、楽しみごとの演出も行うようにしております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	時間に限りはありますが、希望に応じて散歩や買い物などにお連れしています。希望を言われない方については定期的にお誘いし、季節毎の外出にも参加して頂いています。ご帰宅、初詣やお花見、外食など、ご家族が対応して下さる方もおられます。	新型コロナウイルス感染症予防対応を取って買い物や散歩、家族の協力で帰宅やお墓参りなど個別に行っている。今後は様子を見ながら外出やお祭りなどの参加を検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	実施できていません。		

自己評価	外部評価	項目(ききょう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話のお取り次ぎを行ったり、ご要望に応じてご本人で電話をかけて頂く援助を行っております。携帯電話を使用されている方もおられます。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>不快な音や光については入居者様にその都度聞きながら対応しております。共用空間の清掃を毎日行い、花を活けたり、季節感を味わえるような装飾を施し、心地よく過ごして頂けるように工夫しています。</p>	<p>南向きで日当たりが良く、明るい共有空間である。職員と一緒に季節感のある貼り絵を作製し、展示している。テーブルは統一せず、テレビの前にソファもあり、居心地よく過ごせるよう配置している。温度計も高さを変えた2か所で温度管理をし、空調や換気にも配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファやテーブルの配置を工夫し、一人で、または気の合った方達とゆっくり過ごせるスペースもあります。ベランダのプランターで花を育て、話が出来る環境づくりも行っております。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご自宅で使用されていた家具、写真や愛着のある物を持って来て頂けるよう取り組んでおります。また、ご本人が移動能力を活かして自由に動いて頂けるよう家具の配置を工夫したり、好みに合った用具を使用して頂いています。</p>	<p>居室は洗面台、エアコン、ベット、タンスなどが設置してある。自宅で使い慣れた物や大切にしてきた品物などを持参し、写真や壁に時計を飾った居室もあり、自宅での暮らしや生活リズムに合わせた工夫もあり、居心地よく過ごせるよう配慮をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>共有スペースは広い空間となっている箇所が多く、安全とは言い難い面もあります。わかりやすいようドアに目印をつけるなど、一人一人の生活動線の把握に努め、身体機能を活かして頂けるよう、工夫しております。</p>		

V アウトカム項目(ききょう) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を構築し、更に年間目標を設定し、その人らしい生活が送れるよう支援しております。新人職員も入社時の研修にて学習しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染症の影響で地域の方との交流が減少している。認知症カフェへの参加。SOMPOケアで行っているオンラインASや子ども食堂への参加を地域の方にご案内している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々に向けて認知症に対する理解や援助方法について、他事業所と共に『認知症サポーター養成講座』を行い、発信しております。今後は、町内会や地域の老人会を通し、行っていきたいと思っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、行事や事業所の取組み状況などを報告し、その中での意見をケア向上に繋げています。より多くの入居者様・ご家族に参加して頂けるよう、議題の工夫に取り組んでいます。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	包括支援センター南蔵王管轄内の事業所、社会福祉協議会、介護保険課と『小地域ネットワークグループ』を形成し、地域連携について協力し合う取組みを行っています。		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	H27年のグループ会社における虐待事案を受け、身体拘束廃止委員会を設置し、年4回開催している。虐待や身体拘束に繋がりがかねないケア等について話し合いを行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	H27年のグループ会社における虐待事案を受け、身体拘束廃止委員会を設置し、年4回開催している。虐待や身体拘束に繋がりがかねないケア等について話し合いを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度のパンフレットを施設に設置し、研修会があれば参加していきます。また、必要性のあるご本人とご家族に、制度の活用をお勧めしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書説明時には疑問点や不安内容について、確認を行いながら、説明を行うようにしております。一度の説明では理解が難しい事も考慮にいれ、複数日かけることもあります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見ご要望カードを設置し、いつでも意見を汲み取れるようにし、頂いたご意見について話し合い職員間でも共有して要望実現に努めております。また、会社としても『お客様相談窓口』を設け、重要事項の説明の際にも公的窓口の案内をしております。		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回、業務改善に関する話し合いを行っており、トップダウンではなく、職員の意見や提案を運営に反映させる機会を設けています。月に1回ユニット代表者間での会議も行っております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	目標チャレンジ制度(昇給制度)、社外研修参加制度、資格取得補助制度を設け、職員の努力や実績を把握するよう努めております。また、出産育児休業や配偶者出産休暇など、子育て支援制度も行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	目標チャレンジ制度で、職員ごとに年間の目標を自分で建て、管理者と面談を通して自己研鑽の機会を設けている。外部研修の案内をし、希望者に参加してもらっておりますが、十分な体制とは言い難い状況です。資格取得補助制度も設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同一法人内の意見交換は十分に行っております。また、包括支援センター南蔵王管轄内の事業所同士で連携をとっており、事例検討会や研修会などを行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居面談時はもちろん、入居に関わる前から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしております。		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居のご相談を頂いた時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしております。来訪時には出来るだけ話をする機会を作り、信頼関係を築けるよう努めております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談時に何に困っておられるか、どうされたいのか伺い、現在どのような支援を必要としているかを見極め、どのようなサービスを利用すれば解決できるかを、一緒に考えるようにしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日常生活を共に営むという認識のもと援助を行っております。一緒に食事をして、下膳していただいたり、日々生きがいと楽しみのある生活づくりを、連帯感を持って支援しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居者様の状態を毎月の手紙やその都度ご家族に報告して把握をして頂き、援助について一緒に考え、関わりを増やして頂けるようにしております。リアル面会も実施しており、家族様との絆を大切にしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会や外出を再開しており、外出を望まれる方には外出して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様同士一緒にソファで会話を楽しんでたり、一緒にアクティビティーをすることで入居者様同士が関わりあえるようにしております。気の合う入居者様同士で散歩や趣味活動に日常的に参加されたり、外出の支援を行っております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用終了(退去)後は担当ケアマネージャーやソーシャルワーカーの方々と相談しながら、継続した関わりが必要なケースについてはフォローしております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様やご家族から生活歴を伺い、希望や思いを把握するとともに、ご本人の意向に沿うよう、プラン評価時に話し合いをしております。また、毎日の生活の中でもコミュニケーションが困難な方も入居者様の態度や表情などから把握するように努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について何ようしております。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなどから様々な情報を頂き、情報量を増やすよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の状態やエピソードを個別介護記録に記載し、現状の把握に努めております。申し送りやカンファレンスを活用し、職員間で情報共有出来るよう行っています。		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者様、ご家族、主治医などの意見を頂きながら、カンファレンスなどで話し合い、計画作成しております。期間の中途でも必要に応じ、計画変更を行い、現状に即した支援を心がけております。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>既定の個別介護記録に日々の生活の様子や対応、対応後の入居者様の表情や言動(満足度)も細やかに記載しております。また、月1回のカンファレンスでのモニタリングにて、介護計画の見直しを行っております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者様のかかりつけ医への受診や、ご希望の理美容院へはご家族対応となっておりますが、ご家族の状況により職員が行うなど、柔軟な対応が出来るようにしております。ご要望に応じて買い物の代行支援も行っております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>その方の今までの生活、現在の状況において必要な場合は、民生委員の協力を仰ぐようにしております。また、子ども食堂を実施し、子どもとのふれあいのある生活づくりを支援しております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人およびご家族が医療機関の選定をされています。事業所として、適切な医療を受けられるように助言などを行っております。かかりつけ医と訪問診療以外でも、細目に報告し、いつでも相談できるよう、連携しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員や訪問看護と密に連携をとりながら健康管理を行っております。また、適切な受診や看護が受けられるよう、日々の生活の状態を把握し、情報の共有に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に情報提供書を作成し、ご本人の様子を説明しております。また、定期的に連絡を行い、状態を把握し、その際には担当医師、看護師、ソーシャルワーカーの方々とも話をする機会を設けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時から話し合いの機会を持つようにしております。また、早期に話し合いを行い、重度化した際の指針を作成し、かかりつけ医・看護師と方針の共有を行い、最期までより良い日常が過ごせるよう、協力体制を整えております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時に備え、マニュアルを作成し、研修を行っております。救急救命講習会への参加をするように心がけており、また、管轄消防署に依頼し、事業所で研修会を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害発生時の対応マニュアルの作成、更新を行っており、災害発生を想定した避難訓練を年2回、うち1回は地震想定での訓練を行っています。近隣の方々に避難訓練のご案内をしています。水害想定訓練も年1回実施しています。		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自分がされたいやだと思うことは相手にもしないという思いを持ち援助を行っている。個人情報保護法に基づき、個人情報の取り扱いを行っております。また、各居室は入居者様にとって自宅と捉え、プライバシーに配慮しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人とのコミュニケーションを取る中で出た言葉から、参加につながるような援助を行うよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人の生活習慣や生活リズムに応じて援助をスケジュール化してはいますが、趣味活動など、その日の様子、希望によって臨機応変に対応しております。また援助については交渉を行ったうえでっております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者様の好みに合わせ、衣服の選択、更衣や整容等の援助を行っております。理美容院についても、ご本人の望まれる店に行けるよう、ご家族にも協力して頂いております。訪問美容を利用されている入居者様も多くいます。日常のおしゃれについては、髪をとかす程度になっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	保健衛生上、通常の食事は配食会社に委託を行っております。食中毒予防のため一緒に調理は行えていませんが、職員も一緒に食事をとり、入居者様の好みや状態に合った食事の提供と補助具の使用に心がけております。片付けは一緒に行えていない。		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご要望や摂食嚥下状態に応じた食事形態や介助の工夫を行い、一度の食べる量が少ない方には補食を提供するなど、摂取できるように取り組んでいます。その方の体調に応じて水分摂取量の記録を残し、一日を通じて確保出来るよう支援しています。また週1回体重測定を行い、変動に気を付けています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>誤嚥性肺炎の予防の為にも一人一人の状況に応じた補助具を使用し、毎食後、口腔ケアや義歯管理の援助を行っております。また、必要な方には定期的に歯科衛生士によるケアも行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄障害のアセスメントを行い、一人一人の排泄パターンを把握し、出来るだけ自然な形での排泄が行え、失禁の軽減に努めております。膀胱尿道機能の障害が考えられる方には泌尿器科医への相談も行っています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便コントロールについて、薬剤だけに頼るのではなく、運動励行、水分摂取、排便に良いとされる飲食物の摂取など、生活面から一人一人に合った支援に取り組んでいます。便秘の原因について、医師に相談し、その方に合った排便管理の実践を行っております。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人一人の希望の時間に入浴できるように配慮しております。入浴をアクティビティの一つと考え、湯の温度や入浴方法など、好みに応じて対応しております。皆様が安全に楽しみを持って入浴して頂くため、ある程度スケジュール化させて頂いております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	安眠できるように温かい飲み物を提供したり、室内の温度や湿度、照明の調節、排泄介助の時間の調整、日中に疲れ具合に応じて休息を取って頂く、など行っております。その方の生活習慣やご要望の就寝時間に沿って、援助を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	入居者様の薬の情報について確認し、また、薬剤師から説明を受けるなどして、理解に努めております。一人一人に合った方法で介助を行っております。また、薬の変更時には状態の観察を特に行い、介護記録に記入しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	中々難しい面もあるが、外の空気を吸って頂くよう、散歩や外食の声かけを行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	時間に限りはありますが、希望に応じて散歩や買い物などにお連れしています。希望を言われない方については定期的にお誘いし、季節毎の外出にも参加して頂いています。ご帰宅、初詣やお花見、外食など、ご家族が対応して下さる方もおられます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	実施できていない。		

自己評価	外部評価	項目(はまゆう)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話のお取り次ぎを行ったり、ご要望に応じてご本人で電話をかけて頂く援助を行っております。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>不快な音や光については入居者様にその都度聞きながら対応しております。共用空間の清掃を毎日行い、花を活けたり、季節感を味わえるような装飾を施し、心地よく過ごして頂けるように工夫しています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファやテーブルの配置を工夫し、一人で、または気の合った方達とゆっくり過ごせるスペースもあります。ベランダのプランターで花を育て、話ができる環境づくりも行っております。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご自宅で使用されていた家具、写真や愛着のある物を持って来て頂けるよう取り組んでおります。また、ご本人が移動能力を活かして自由に動いて頂けるよう家具の配置を工夫したり、好みに合った用具を使用させて頂いています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご自宅で使用されていた家具、写真や愛着のある物を持って来て頂けるよう取り組んでおります。また、ご本人が移動能力を活かして自由に動いて頂けるよう家具の配置を工夫したり、好みに合った用具を使用させて頂いています。</p>		

V アウトカム項目(はまゆう) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 そんぼの家グループホーム南蔵王

作成日 令和 5年 7月 17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍ということで運営推進会議の対面開催を控え、書面開催としていた。	運営推進会議を対面で開催していく。	感染予防を踏まえながら、運営推進会議を対面にて開催する。	8月から実施。
2	60	外出が減っている。	外出の機会を増やしていく。	暑い時期を避け、外出の行事を取り入れていく。	10月頃より実施。
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。